

衆政会
会派視察報告

7月17日から19日の3日間の日程で行政視察を行った。

埼玉県所沢市の「高齢者運転免許自主返納による無料乗車券交付について」視察。制度導入の背景と経緯、制度導入による問題点、予算・実績、今後の問題点などを質問させていただいた。免許証の有効期限内に返納した場合、申請により取得できる運転経歴証明書を提示することでシルバーサポート制度協賛事業所の特典が受けられるなど、交通事故防止につながっている。

栃木県足利市に所在する「こころみ学園」を視察。障がい者100人が共同生活しながら世界が認めるワインを製造して生計を立てている。そこはまるで障がい者の梁山泊に感じた。

東京都千代田区の「子どもの遊び場」に関する基本条例について。本市



千代田区子どもの遊び場

と同様に公園はキャッチボールが禁止であり、子どもの可能性を引き出すためには外遊びは欠かせないとの想いで、環境を整えるため有識者を含め10人の委員で「子どもの遊び場確保に関する検討会」を構成し、25年3月に条例制定、4月から施行した。条例は都市公園条例を変えることなく、公園を週1回、時間を決めて遊び場として開放し安全管理や遊びを支援するために地域や学校の関係者、学生ボランティア等をプレイヤーと任命している。現在は2か所の運営だが将来は学校ごとに設置し、地域自治会で運営する予定である。予算は580万円を計上している。

3か所とも大変有意義な視察であった。

第8回全国市議会議長会
研究フォーラム報告

7月10日・11日の2日間に渡り、北海道旭川市民文化会館において第8回「全国市議会議長会研究フォーラム」が開催された。本市議会からは創政会、近未来21、翔春会、春風会の12名が参加した。

当日会場には全国から2000名以上の議員が集まり熱気に包まれていた。基調講演では後藤・安田記念東

京都市研究所理事長の西尾勝氏が地方議会改革についての考えを述べられた。この中で本市においていち早く導入した「議会基本条例」の全国的な制定に向けた取り組みを評価した上で今後さらなる改革に取り組みべきとの話があった。パネルディスカッションでは旭川市議会議長も交えた大学教授の「地方自治への期待」についてそれぞれの考えが述べられ会場からも活発な意見が交わされた。最終日は各議会から現在非常に世間から厳しい目に晒されている「政務活動費」に関する報告がなされ、当議会でも今後を見据えてそれぞれの議員が真剣に耳を傾けていた。非常に意義深いフォーラムであった。



市議会ホームページをご覧ください

Welcome!



定例会や委員会の開催日程などをお知らせしています。市議会だよりや議長交際費の内訳も見るができます。

春日市議会

検索

